

# 野田九条通信

2017年2月 134号

野田・九条の会 事務局  
☎04-7122-0502



野田 九条の会

検索

## 話そうよ 憲法51111111111111111111

## 春のバスツアー 横田基地見学

野田・九条の会は1月14日 技術の研究に去年六億円だったのが、今年度一挙に一一〇億円の予算をつけて研究者を誘っています。

し落ち着いて対話する「おしゃべりカフェ」を開催します。

動計画について話し合いました。昨年の安保法制成立後、自衛隊の南スーダン派兵、そして

こんなか、私たちは来る衆議院選挙、改憲に対し積極的に市民どうし対話する行動を進めることにしました。毎月の九の

防衛予算は五兆一六八五億円、過去最高となり、しかも今年度補正予算で二千億円を前

日行動では、今までのように駅頭でチラシを配布するだけでなく、「シール投票」をきっかけにお話をします。またもう少

ます。(2面参照)

この九条通信 予定表を見て 参加してください。

防衛予算は五兆一六八五億円、過去最高となり、しかも今年度補正予算で二千億円を前年度で組み込んでいます。軍事

この九条通信 予定表を見て 参加してください。



## 安保条約を“実感”しよう

東京昭島市にある米軍「横田基地」に行きます。オスプレイが配備されること、安保条約を実感してみたいと思いませんか？

地元で活動する市民団体の方のお話も聞きます。昨年開館した武蔵村山陸軍資料館見学、原爆の絵で知られる丸木美術館も見学します。

### 野田・九条の会 今年の年間計画

- 3月 「共謀罪」学習会
- 4月 バスツアー「オスプレイ配備の横田基地見学」
- 5月 平和のつどいイベント「ピースパレード」参加
- 8月 「平和のつどい」参加
- 11月 講演会とアピール
- 毎月 9日 駅頭行動  
19日 国会行動



### ①今月の予定

- 2月5日(日) 13:30~16:30  
DVD上映とディスカッション  
“生前退位”を学習する  
南部梅郷公民館 南地域九条の会  
何が問題なのか、考えてみませんか?
- 2月9日(木) 16:30~17:30  
9の日行動 駅頭シール投票  
梅郷駅西口 川間駅北口 野田九条の会  
憲法は守るものですか? 守らせるものですか?
- 2月11日(土・祝) 13:30~16:00  
野田・九条の会 定例会 討論「どうする?日本の安全保障、樺のホール研修室 護憲の中身を考えよう」
- 2月19日(日) 13:30~  
格差・貧困にノー!!みんなが尊重される社会を!  
2・19 総がかり行動  
日比谷野外音楽堂  
一緒に行きませんか? 愛宕駅 11:07 発 柏行き先頭車両乗車
- 2月25日(土) 10:00~12:30  
DVD上映とディスカッション  
「内部告発者 知られざる苦悩」  
総合福祉会館 子どもの未来を語る会
- 2月25日(土) 13:30~  
DVD上映とディスカッション  
映画「野火」大岡昇平原作・市川崑監督  
北コミセン 川間九条の会

# 九条の眼 共謀罪で萎縮—監視社会を招く

## 共謀罪は稀代の悪法—平成の治安維持法だ

1月20日から始まった通常国会に提出予定の共謀罪。懸念が広まる中、菅官房長官は「一般の方々を対象となることはあり得ない」と発言。本当にそうだろうか？「市民は対象外」と条文に明記するわけではない。実は、悪名高い戦前の治安維持法もマスコミが懸念する中、当時の内相は同じことを言っていた。集团的自衛権行使は合憲だという今の政権の言うことを信じるわけにはいかない。治安維持法は成立後2度の改悪や拡大解釈により、宗教団体や俳句結社までもが弾圧の標的になった。同法が本格的に適用された1928年の「三・一五事件」では、共産党員ら約1,600人が全国で一斉検挙された。この事件を契機に同法は改悪され、最高刑が死刑に引き上げられた。警察の公式統計だけでも、1945年までの17年間で検挙者数は6万8千人を超える。同法で拘束された小林多喜二や4人が獄死した横浜事件など多くの犠牲者を生み出した。

## 共謀罪—話し合っただけで罪に問われる

共謀罪を適用する対象の組織的犯罪集団に該当するかどうかは、警察や検察の認定次第だ。捜査当局が同法を適用するには、ある特定の団体の構成員を日常的に監視するしかない。尾行はもちろん、通信傍受法も悪用して盗聴するだろう。安倍政権が安保法で「戦

争ができる国」にしようとする中、共謀罪は、沖縄の新基地建設反対や原発稼働、戦争に反対する人たちを黙らせる武器になる。例えば、ある市民団体のメンバーが国会の壁に「戦争反対」と書こうと相談し、ペンキを買うために現金を引き出したら、建造物破壊の共謀罪が成立し、警察は逮捕できる。起訴できなくても警察が逮捕するだけで、その団体に大きなダメージを与えられる。一般人かどうかは捜査の結果わかることであり一般人も十分捜査の対象になるということだ。

政府はテロ対策に共謀罪が必要だというのが、国際テロを準備や共謀の段階で処罰できる法律はすでに70以上あり、十分に対処可能なのだ。また「共謀罪は悪法」の評価が定着しているのを嫌い、最近のテロの頻発にかこつけて法案名を「テロ等準備罪」に変えた。実際に取り締まる対象のほとんどは「等」に含まれる犯罪であろう。

治安維持法の歴史を見ればわかるように、一度適用されれば増殖し、拡張していく。対象犯罪を絞っても、集団の定義を絞っても、本質的な危険は消えない。一般人に関係ないわけがない。共謀罪では、密告した人は罪を免除される可能性があるのも、互いに監視しあう社会につながる。今、共謀罪の新設を許せば、憲法の保障が崩され、何も自由に言えない暗黒の社会になる。…皆さん、しっかり注目し、抗議、批判をしていきましょう。

皆川 純磨

## 野田市とポツダム宣言

太平洋戦争末期「絶対国防圏」まで突破され日本の敗北は明らかで、国家滅亡の危機に瀕していました。この難しい状況下で、請われて77才で総理に就任(1945.4.7-8.17)し、終戦に向けて力を尽くしたのが関宿出身の鈴木貫太郎でした。しかし局面の打開にいたらないまま、7月26日には連合国より無条件降伏を求めるポツダム宣言が通告されました。陸軍強硬派は原爆投下、ソ連参戦に至ってもなおあくまで抗戦すべきであると主張。終戦の最後の瞬間が来たと判断した鈴木は、8月14日昭和天皇の「聖断」によってポツダム宣言の受諾を決定、終戦へと日本を導きました。翌8月15日早朝、私邸を襲撃され間一髪脱出しましたが、この大業は命がけであったのです。

1947年5月3日、第9条で国際平和を希求し、戦争を放棄することを謳った日本国憲法が施行されました。日本国民の大切な希望の光、平和憲法が誕生したのです。2017年の今年は70年目となります。

戦後、鈴木貫太郎は少年時代を過ごした故郷関宿に戻り3年後に亡くなりました。死の直前「永遠の平和、永遠の平和」と非常にハッキリとした声で2度繰り返したといわれています。

私たち主権者はこの鈴木貫太郎の遺言とも思われる言葉を受け継いで、憲法9条を為政者たちに守らせる為に活動中です。主権者の声が届かない今の政治だからこそ、「永遠の平和」の為に国の防衛のカッコケの煽りに負けず、憲法9条の尊さで煽りかえそうではありませんか。

野田九条の会賛同者